

## 「岩手の復興と再生に」 オール岩大パワーを

vol.37

<http://www.iwate-u.ac.jp/koho/fukkouletter.shtml> 岩手大学ホームページからもご覧いただけます。

### 「第4回全国水産系研究者フォーラム」を開催しました

12月20日、「第4回全国水産系研究者フォーラム」が東京海洋大学を会場に開催されました。

本フォーラムは、SANRIKU（三陸）水産研究教育拠点形成事業で連携している岩手大学、東京海洋大学、北里大学の3大学が共同で、三陸の新たな水産資源の活用方策を探り、水産系分野の教育研究拠点を形成することを目指して平成23年度から開催してきました。

4回目を迎えた今回は「これからの水産学の在り方—水産業を発展させるために—」をテーマに開催し、教育・研究機関、自治体、企業等の様々な関係者が参加しました。

基調講演では、一般社団法人大日本水産会の重義行専務理事から、「新たな持続可能な水産業の戦略について—震災を乗り越えて—」と題して、日本の水産業の現状と課題を踏まえ、どのように水産業を盛り立てるか、また、東日本大震災以降の水産業の復興状況についてお話いただきました。

続くパネルディスカッションでは、研究者や水産業関係者の立場から議論が進められ、6次産業化を推進するうえでも、今後は水産「業」と水産「学」を橋渡しできるコーディネーター的人材が求められること

から、平成28年4月に本学農学部の新設予定である水産システム学コースに対して大きな期待が寄せられました。

また、復興のシンボルとして、本学の三陸水産研究センターが、全国の水産系研究者の共同利用施設としての役割を果たしていくことが重要との意見も出されました。

基調講演の内容やパネルディスカッションで頂戴した意見を取り入れ、全国へ発信していくよう水産の教育・研究に努めてまいります。



基調講演を行う  
重 大日本水産会専務理事

#### プログラム

##### 基調講演

テーマ：「新たな持続可能な水産業の戦略について—震災を乗り越えて—」  
講師：一般社団法人大日本水産会 重 義行 専務理事

##### パネルディスカッション

テーマ：「これからの水産学の在り方—水産業を発展させるために—」  
モデレータ：岩手大学 山内皓平 客員教授  
(愛媛大学南予水産研究センター長)

パネリスト：一般社団法人大日本水産会 重 義行 専務理事  
一般社団法人全国水産技術者協会 井上 潔 専務理事  
北里大学海洋生命科学部 渡部終五 教授  
総合地球環境学研究所 大元鈴子 研究員  
東京海洋大学 小川廣男 理事・副学長  
岩手大学三陸水産研究センター 三浦 靖 センター長



パネルディスカッションの様子

### エコプロダクツ展に出展しました

岩手大学は、12月11日から13日にかけて東京ビッグサイトで開催された「エコプロダクツ2014」に環境に関する取り組みを出展しました。

エコプロダクツ展は日本最大級の環境展示会で、数百にのぼるブースで産学官の様々な団体が環境関連の取り組みを紹介します。岩手大学ではこれまで環境マネジメント学生委員会による多様な環境活動などを紹介してきました。

三陸復興推進機構でも東日本大震災の翌年から、復興支援活動における研究成果として、震災木くずを利用したパーティクルボードや河口・沿岸域の生態系調査のデータなどの展示をすると共に三陸沿岸地域の復旧状況を紹介しており、今年度は、農地復興班が津波被災農地において取り組んでいる「有機質資材を活用した営農復興支援研究」の概要を展示しました。

イベント当日は、社会科見学の小中学生を含め、幅広い年齢層の多くの方が来場し、環境への関心の高さが窺えました。

岩手大学のブースでは、岩手県または岩手大学に縁のある方や、震災復興に関心をお持ちの方が多く足を止めてくださいました。

来場者の方からは、被災地の復興の全体的な進み具合に関する質問を多く受け、中には1時間以上にわたり意見交換をしてくださった熱心な方もいらっしゃいました。

震災を風化させず被災地の生の声を知ってもらうことは、時間が経つほどにその重要性が増してきます。

この度の出展が、少しでも多くの方に、「被災地の今」を知ってもらい、また三陸沿岸地域に目を向けてもらう一助となったことを期待します。



岩手大学の展示ブース



本学OBの方に説明している様子

# 岩手大学三陸復興プロジェクト

岩手大学では岩手大学三陸復興推進機構を設置し、地域の行政や住民、他大学、企業等と連携を図りながら、教職員・学生が丸となって東日本大震災からの復興に取り組んでいます。今回は、沿岸の小中学校における防災について調査を進めている、地域防災教育研究部門の活動の一例をご紹介します。

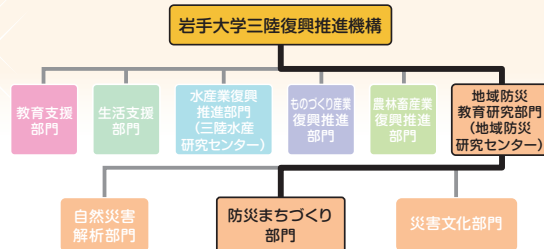
## 地域コミュニティに根ざした避難拠点の計画

三陸復興推進機構地域防災教育研究部門防災まちづくり部門  
菊池 義浩 (地域防災研究センター 特任助教)

東日本大震災では学校施設も甚大な被害を受け、教育現場における災害対策の強化が緊急の課題として浮上しています。この研究は、地域コミュニティに根ざした避難拠点としての学校施設の機能に着目し、既存学校における防災・減災対応と、今後の学校施設の配置計画について検討することを課題として取り組んでいます。

岩手県の小中学校では、36校が津波による被害を受けました(岩手県教育委員会調べ)。間一髪で避難が間に合い、大きな人的被害を免れることができましたが、少し判断を誤れば深刻な事態になっていたことも想定されます。防災教育などのソフト対策がさらに注目されている一方、それを支えるようなハード対策も求められると考えられます。

このような状況を踏まえて、今次震災で津波被害を受けた小中学校を対象に、災害時における避難行動の詳細を明らかにし、災害対策に活用できる情報を記録することを目的とした調査を行いました。調査では教職員の方々に協力いただき、地図上で避難先と避難ルートを確認しながら、当日の避難行動の流れを時系列で整理しました。また、その内容に基づいて、実際に避難



ルートを歩きながら避難先や避難路の環境点検も行っています。

これまで、工学部社会環境工学科の松林由里子助教(地域防災研究センター兼務、自然災害解析部門)と共同で実施し、平成25年度は19校の小中学校にご協力いただいて、今後の津波防災に関する貴重なデータを得ることができました。この調査は平成26年度も継続しており、岩手沿岸の広範な地域をできるだけ詳細に把握できるよう取り組んでいます。

なお、現在は南海トラフ巨大地震の発生が懸念されていますが、学校施設を早急に高台移転させることは、現実として難しい部分も多いと言えるでしょう。残される地域コミュニティとの関係を、まちづくりの問題としても考えなければなりません。そこでは、まずは現地での災害対策を検討しなければならず、3.11の教訓は有効な知見となります。防災まちづくりの側面から、地域防災力の向上に貢献していくことを目標としています。



↑ 現地調査の様子

← 津波避難行動の例(地図:国土地理院「基盤地図情報」、津波浸水域:岩手県県土整備部河川課)

## 釜石サテライトだより

ものづくり産業復興推進部門は、(公財)釜石・大槌地域産業育成センター等と連携して三陸沿岸地域におけるものづくり産業の早期の復興と新たな産業の創生を推進しています。

釜石・大槌地域産業育成センター内に設置した「岩手大学三陸復興推進機構ものづくり産業復興推進部門サテライト(略称「ものづくりサテライト」)」では、駐在する技術研究・指導班の職員が3D-CAD/CAMシステムを始め、5軸マシニングセンタ等の加工機械や、各種測定機器などの導入機材を活用し、近隣企業の皆様が試作開発・技術研修などが出来るように支援をしています。特にこれまで釜石地域において推進してきたコバルト系合金の研究開発成果を生かし、同地域が特徴ある製造・加工の拠点となること目指しています。

### ● 地元企業の試作支援や共同製作

ものづくりサテライトでは、これまでに地元の企業の試作支援として、コバルト合金製宝剣(震災の鎮魂のためのモニュメント)の試作や、全日本コマ対戦に向けた喧嘩ゴマの作製支援などをしてまいりました。

今年度はさらに地元民間企業との試作支援や共同製作に力を入れており、これまでにコバルト合金製の船舶向けボルトやタービンなどを試作し、首都圏で行われた展示会へ出展を行いました。これらはすぐに市販に至るようなものではありませんが、展示会を通して多くの方の興味と関心を得、新しい技術展開や市場についてのアイデアを得る事が出来ました。

### ● 3D-CAD 講習会の充実

サテライトの開所以来、高度なものづくりの必須技術の一つとして3D-CADを紹介し、体験や技術習得や資格取得のための3D-CAD講習会を継続的に実施しています。

最近の講習では、3D-CADで作製した3Dデータを使った応用的な学習にも力を入れており、3Dプリンタによる試作、CAMIによるNCデータ(加工機械用のプログラム)の作製と機械加工、3次元計測器に部品の寸法計測とCADデータの照合などを体験したり、見学したり出来るような特色あるメニューを用意しています。



3D-CAD 講習会の様子

震災から4年を迎える今年、ものづくり産業復興推進部門では、地元のものづくり企業がこれまでの知識や経験を生かし、さらに力強く、そして特色ある企業として歩むための支援を続けてまいります。

**連絡先** 岩手大学三陸復興推進機構釜石サテライト  
〒026-0001 岩手県釜石市平田第三地割75-1  
TEL:0193-55-5691(代表)/FAX:0193-36-1610  
E-mail:kamaishi@iwate-u.ac.jp  
URL:http://www.iwate-u.ac.jp/reconstruct/kamaishi/

## Information

### 岩手大学動物セミナー「みんなで学ぼう 犬の気持ち」 ～家族である犬と幸せに暮らすために～



岩手大学三陸復興推進機構生活支援部門被災動物支援班では、ドッグトレーナーや獣医師による動物セミナーを開催します。

日 時:平成27年2月11日(水・祝日) 13:30~15:30  
会 場:宮古市民総合体育館(シーアリーナ) 3F  
(宮古市小山田2-1-1)

受講料  
無料

**内 容** ●見たい!知りたい!犬の言葉～賢い「しつけ」の方法  
●集合住宅で犬と幸せに暮らすには?  
●動物愛護～「いのち」をあずかる責任

**申し込み** 宮古保健所(電話:0193-64-2218)  
**問い合わせ** 岩手大学三陸復興推進機構 大澤(電話:090-6250-4251)